

2000年1月1日～2025年12月31日の間に
岡山大学において法医解剖を受けられた方のご遺族様へ
—「法医学情報による孤独死等の背景要因の実態把握」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学学術研究院医歯薬学域
研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野 宮石 智

1) 研究の背景および目的

孤独死等の対策は進んできています。しかし、公的サービス、地域における見守りの対象から外れてしまい、死後長期間経った後、発見される場合も多々あります。そのような死亡を予防するための知見を得ることを目的として、法医解剖事例における事例から背景要因について明らかにすることを試みます。

2) 研究対象者

2000年1月1日～2025年12月31日の間に岡山大学法医学分野において把握をした死亡事例、約1000名を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月末日

4) 研究方法

当大学において解剖を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、孤独死等との関連性を検討します。

5) 使用する試料

死亡時の健康状態を把握するため、法医解剖後に検査を実施する血液、尿、臓器などです。

6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの故人を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、故人およびご遺族の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、死因、死因の種類、死後経過時間、家族歴、既往歴、解剖に至るまでの経緯、家庭環境
- ・ 解剖所見、各種検査（血液検査、薬毒物検査、画像検査など）のデータ

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後も岡山大学学術研究院医歯薬学域法医学分野で半永久的に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

ご遺族様のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、ご遺族様が希望される場合にのみ行います。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などの故人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が研究に使用されることについて、ご遺族様にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合もご遺族様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 法医学分野

氏名：宮石智

電話：086-235-7201（平日：10時～17時）